



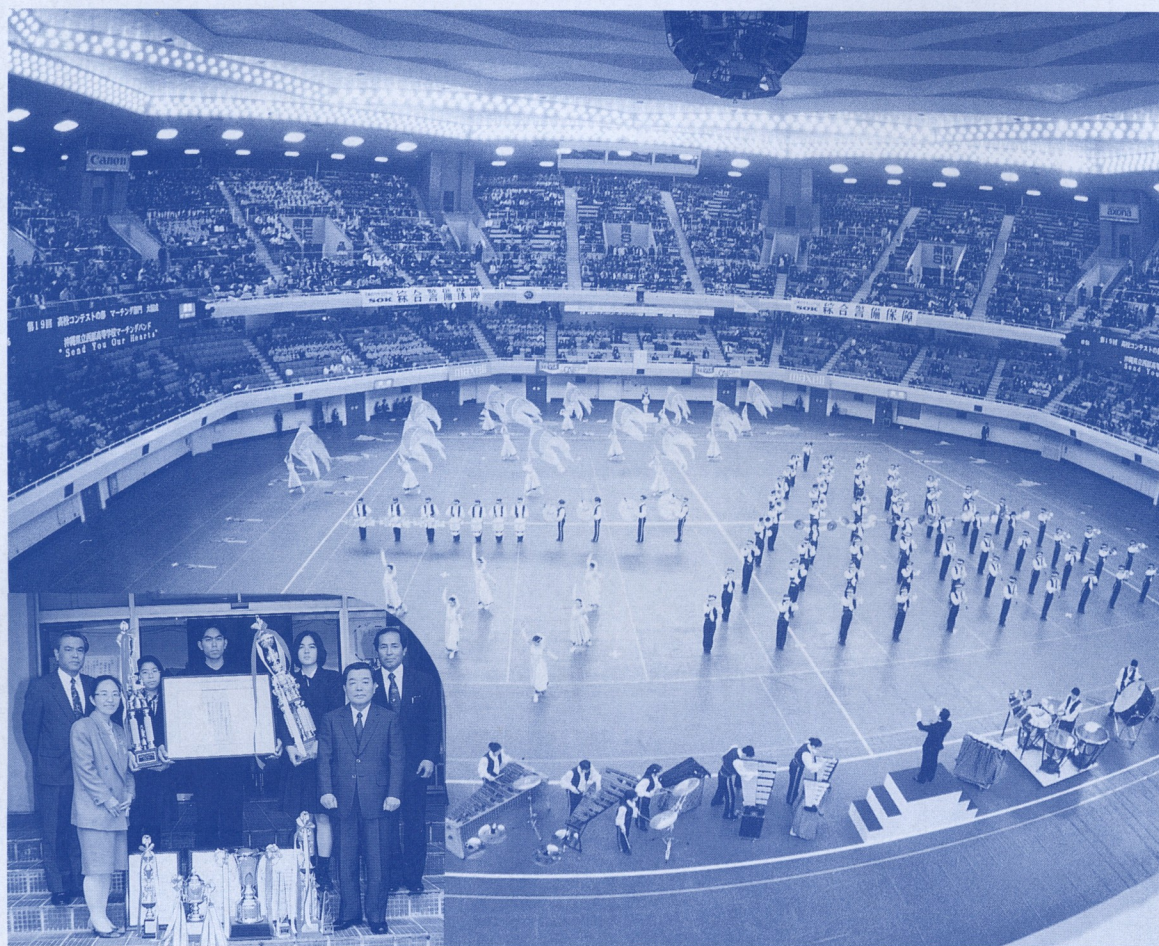
～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成6年1月末現在)

世帯数	8,499戸
人口	27,459人
男	14,019人
女	13,440人
1月の人口移動	
出生 26件	死亡 14件
転入 89件	転出 70件
婚姻 15件	離婚 1件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

西原高が県勢初の日本一に

「やったぞ、日本一だ!!!」—1月22日・23日、東京都内の日本武道館で行われた第21回マーチングバンド・バトントワリング全国大会(主催、全日本マーチングバンド・バトントワリング連盟など)で、西原高校マーチングバンド(指導指揮、大城政信教諭、104人編成)が見事、県勢初のグランプリ(日本一)を受賞、金賞、大会最優秀賞とあわせ3冠を獲得しました。

西原高校マーチングバンドは、同大会の第19回全国高校コンテストの部・マーチングバンド部門に、九州代表として出場、今回の快挙となりました。

演目は「センド・ユー・アワ・ハーツ」で、華麗な演技と総合的な表現力・チームワークなどが高く評価されたの受賞に、生徒たちも「夢を見ているよう。まだ実感がわきません」と、興奮冷めやらぬ様子でした。

また、1月25日午後には、平安恒政町長を表敬訪問し、グランプリ受賞の報告をしました。報告を受けた平安町長は「おめでとうございます。大城教諭と生徒たちの頑張りの成果だと思います」と祝福し、激励しました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

努力と実践に基づいた継続を

学推協が実践研究発表会

「豊かな感情と確かな学力を形成するには、地域ぐるみの活動をどのようにすすめるか」を研究主題に、町学推協実践研究発表会（町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会、町教育委員会主催）が、二月五日午後、西原中学校で開かれました。



「地域ぐるみで図ろう、豊かな感情と確かな学力を」・「地域ぐるみで築こう、人間性豊かな文教のまち西原を」をスローガンにした第九年次を締めくくる今発表会は、学校部会と地域部会が推進役となつて計画的に取り組んだ平成五年度の実践研究を発表するもの。

体育館で行われた全体会では、関係者約二百人が参加。井口善博学校部会長の開会あいさつ、與那嶺浩学推協会長のあいさつにひきつづいて、宮里憲幸学推協事務局長が実践研究の経過と概要を報告しました。

その後、城間成高くん（西原中学校三年生）と田場絵梨子さん（西原東中学校二年生）が、生徒を代表して意見発表をしました。さらに、幼稚園、小学校、中学校、地域での取り組みが紹介され、今年度の活動状況を報告しました。

質疑応答では活発な討論がなされ、「中・高校生を地域活動にどのように参加させるか」が今後の課題として提示されました。

また、平安恒政町長は祝辞の中で「住んでよかったといえるまちづくりには、町民一人ひとりのボランティア精神や知恵が大切である」と述べました。

なお、研究発表者は次の通り（敬称略）。

モデル地域の成果を発表

町地域自治活動発表会



▽学校部会・銘苺規子（西原東幼稚園教諭）、大田由美子（西原南小学校研究主任）、佐久本聡（西原東中学校研究主任）
▽地域部会・山入端正徳（掛保久支部長）、与那城章（桃原支部長）▽宮里憲幸（学推協事務局長）



モデル地域の成果を活かして町内自治会活動の活性化を図ろうと、町主催の町地域自治活動発表会が一月二十九日午後、町中央公民館で約二百人が参加して開催されました。

「町地域自治活動推進地区指定事業」は、地域の特色を活かした個性豊かな地域づくりの具体的推進を図るため平成三年度から取り組まれているもので、二年の指定期間中に、自治会が行う活性化への取り組みを助成する事業です。

今回は、第一回の指定期間（平成三年度から平成四年度）が満了したことに伴い、その推進地区である五つの自治会から実践発表をもらい、全自治会の今後の活動に活かしてもらおうということで開催されました。

平安恒政町長あいさつの後、ひきつづいて五つの自治会から実践発表が行われました。

また、山本英吉浦添市緑ヶ丘自治会長を講師に、先進自治会活動の事例発表がありました。

なお、実践発表者は次の通り（敬称略）。

▽棚原自治会・比嘉昂（図書室・卓球台の設置、写生大会、ボランティア活動など）
▽坂田自治会・濱門稔（坂田まつりと自治会活動の活性化）
▽内間自治会・新川善一（児童図書室の設置と図書整備）
▽嘉手苺自治会・呉屋實（本島縦断駅伝、綱引、親子黒砂糖作りなど）
▽小那覇自治会・中山善正（児童公園・公民館広場・拝所などの環境整備）

西原東中で 校内研究発表会

一月二十一日午後、西原東中学校(瑞慶覧進校長)で平成五年度町教育委員会・町学推協指定研究校校内研究発表会が行われました。

指定校の西原東中学校では、「全人格的発達と結びついた学力向上」「指示から支援へ」の教育実践をとおして―」を研究主題に、一年間取り組みできた成果を発表しました。

公開授業では、前回まで一部の先生によるモデル授業だったのを今回は先生全員による公開授業を行いました。

ひきつづいて行われた全体会では、大城光徳教頭や瑞慶覧校長らによるあいさつの後、佐久本聡研究主任による研究発表がありました。各教科ごとの学習指導案や取り組みの実際などが報告されました。さらに、今後はカウンセリングマインドを基調とした生徒の実態把握や自立心と思いのやりの養成をはかり、沖縄の地域性・独自の文化を基盤に据えた教育観を創りあげてい

くべきとの課題と展望が提起されました。



西原小学校が 校内研究発表会

西原小学校(宮里政和校長)では、平成五年度町教育委員会指定国語科学習の指導方法の研究についての校内発表会を、二月二十日午後、同校で行ないました。

これは、「自ら学ぶ子を育てるための授業の工夫―説明文の指導を通して読む力を高めるには―」を研究主題にした一年間の取り組みを発表するもの。父母一般への公開授業

と体育館に場所を移しての研究発表会が行われました。

研究発表会では、音読や自

らわらないところをカードを使ってたずねる「おたずね方式」の授業への採用、本読みカレンダーや音読朝会の実施などの実践報告と学年が上がるにつれ発音や声の大きさが整ってくるなどの成果が報告されました。これまでの取り組みから、子どもたちの積極的な姿勢や意欲が感じられるといった成果が始めています。今後はどのようにまとめ

させ、表現させるかなどが図書館の利用法や家庭学習も含めて課題とされました。

ひきつづいて、「誰にも取り組めるやさしい親子読書について」新垣英子さんによる講演が行われました。

その後、伊佐正弘中頭教育事務所指導主事による指導講評や宮里憲幸町教育委員会主幹による指導、助言などがありました。



た仲良くなって……」

きつと近い将来、二つの国は元どおり仲良くなるだろうという暗示で劇は終わり、観客たちに明るい未来を予感させました。「せりふは英語だったので分からなかったけど、筋が簡単でよく理解できた」「あつという間に終わってしまった。見ていて全然飽きない」「たった四人で、これだけの濃いステージが展開できるなんて」と、観客らは素晴らしい舞台にすっかり魅せられていました。

キジムナーフェスタ が 催

二月十二日午後、町中央公民館で、キジムナーフェスタ(94国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)の西原町一般公演が開催されました。

これは、二十一世紀を担う子どもたちに世界の演劇にふれることで夢を育ててもらい、国際交流と人材育成を図ろうとするもの。主催は同実行委員会。二月六日から十三日までの八日間、中部十二市町村

を舞台に延べ百十四回のステージが繰り広げられました。本町では、イギリスのラウインドアバウト劇団による「ピースメーカー」が上演され、約二百人の観客を魅了しました。……(あらすじ)……

「高い壁にへだてられた赤と青の二つの国。むかしは仲よしだったのに絶交状態。赤の国の子どもが、ボールを使ってまつりの練習をしていたらボールが誤って高い壁を越えてしまった。大変だ!しかし、壁の向こうには恐ろしい魔物がすんでいると聞かされていたのに、ボールを返してくれたのは、自分たちと同じ普通の子どもだった。これがきっかけで、子ども同士がま





西原東中女子が初優勝

第38回 県中学校新人ソフトテニス大会

第三十八回県中学校新人ソフトテニス大会(県ソフトテニス連盟、県中体連等の主催)が、二月十一日・十二の二日間、奥武山庭球場で行われました。

主軸の一人が体調を崩すという不利な条件を他の選手たちがカバーしてつかんだ勝利に、上原仁監督をはじめ選手たちもうれしさを隠しきれない様子。上原監督は「これまでは精神的に弱い面があり、あと一歩で涙をのんできた。今回は大接戦を制しての勝利なので自信がついた。これを弾みに全国大会で一勝をあげたい。サーブとレシーブ力が課題」と語ってくれました。

なお、男女優勝校は三月二十七日・二十八日の両日に三重県で行われる全国大会へ出場します。

また、男子は西原東Aが初めてベスト四となった。

西原南小学校に コンピュータ導入

西原南小学校(宮城義昇校長)のC・A・I導入セレモニーが、一月二十五日午前、コンピュータ教室で、五年一組のみなさんら関係者約六十人が参加して行われました。コンピュータは、生徒用十



機一台の計十六台で、費用は約一千三百万円。

生徒と先生のコンピュータはサーバー機を通して結ばれていて、これまでのプリント用紙を使った学習方式に比べて効率は格段にようになります。同校では、来年度からクラブ活動などに取り入れていく予定です。

テープカットの後、あいさつの中で平安恒政町長は「本町の中学校には、コンピュータが完備されています。これからは、コンピュータが扱えないと情報化社会へ対応できません。しっかり勉強しましょう」と述べました。

その後、平安町長によるコ

仕事もバレーも チームワークが大事です

ンピュータの起動、宮城校長による西原東小学校のコンピュータクラブの感想文紹介、本村仁君による児童代表あいさつが行われました。

町バレーボール

協会(平安恒政会長)主催による第一回町職域九人制バレーボール大会が、二月六日、町民体育館で開催されました。

これは、バレーボール大会を職域(職場対抗)形式に



すること地域活性化と競技の普及・向上を目的とするもの。

平安会長、與那嶺浩協会顧問あいさつの後、選手宣誓が行われ、試合開始となりました。

男子十チーム、女子三チームが参加、男子はA・Bブロックに、女子は三チームによるリーグ戦が行われました。

特に男子Aブロックでは、県内の実業団大会で活躍するチームが参加、高いレベルの迫力あるプレーが随所に見られました。

なお、大会結果は次の通りです(優勝、準優勝チーム)。

〈男子〉

▽Aブロック 優勝・西原町

役場、準優勝・東部消防

▽Bブロック 優勝・守礼の

里、準優勝・西原浄水場

〈女子〉

▽優勝・琉大病院、準優勝・

コープおきなわ



消防記念日
(3月7日)

すばらしい演技、競技を展開

平成五年度町少年剣道・なぎなた大会

町体育協会（野島英秀会長）主催、平成五年度町少年剣道・なぎなた大会が、一月三十日午後、西原小学校体育館で開催されました。

大会には、小学生六十四人、中学生十六人が参加、元気が

つぱいの気合と熱気あふれる演技、競技を展開しました。

なお、大会の結果は次の通り。

【少年剣道大会】

▼基本動作（素振り、初心者）



▽優秀賞・山内昌幸（星の子幼）、瑞慶覧智美（西原東小）、喜屋武ゆかり（西原東小）

▼基本打ち（初級者、防具着用）▽優秀賞・芳澤慎吾（城東小）、上原夢蔵（坂田小）、与那城享太（西原南小）

▼基本競技（四年以下六級以上）

一位・小渡善旬（西原東小）

二位・宮里真也（西原東小）

三位・上原鉄平（琉附小）

〃・与那城敏一（西原南小）

▽小学生団体戦

一位・西原東小学校

▽小学生個人戦

一位・澤岬昌一郎（坂田小）

二位・小渡善議（西原東小）

三位・芳澤亮（城東小）

▽中学生個人戦

一位・万里崎広太（西原東中）

二位・仲宗根広貴（西原中）

三位・伊計公人（西原中）

【なぎなた大会】

▼演技競技（一年～四年生の部）

一位・新垣勇樹、鉢嶺維子

二位・末吉梓、下田幸子
三位・知花翔子、長嶺憲人
▼試合競技（五・六年生の部）
〈五年生の部〉
一位・新垣智佳子
二位・玉城なつみ
三位・崎原瞳
〈六年生の部〉
一位・小橋川奈代
二位・伊芸梓
三位・當真彩

中国・沖縄国際文化交流出品書作展を開催

—町文化協会(書道部)—

町文化協会(平敷静男会長)の書道部会(久高秀山部長)主催による中国(上海)・沖縄(西原町)国際文化交流出品書作展が、一月二十二日から二十八日まで、町中央公民館で開かれました。これは、本場の書にふれる機会を設けることにより町民への書の普及を図ろうというものです。町文化協会書道部員の作品と上海側の作品合わせて七十七点(書六十七点、画十一点)を



展示し、一部の作品については「近い将来、中国から先生をよび、西原で実演・指導してもらいための資金づくりとして」販売されました。



平安恒政町長や平敷静男町文化協会長、稲福恭助町教育長、久高部長らによるテープカットが行われた後、平安町長や平敷会長があいさつを述べ、展示作品が公開されました。

あいさつの中で平安町長は「書を通して国際交流に貢献した」と述べました。

会場には大勢の人々が見学に訪れ、それぞれ気に入った作品の前で立ちどまっては墨の世界を堪能していました。





園児らとムーチャーづくり

特別養護老人ホーム守礼の里(布垣勝征施設長)デイ・サービスでは、1月17日から21日までの5日間、町内保育園の園児たちとのムーチャーづくり交流会を開催しました。

ムーチャーづくりはデイ・サービス当初から行われているが、園児たちとの交流は初めて。最近では家庭でもあまり、つくらなくなったムーチャーづくりに園児たちも大はしゃぎ。できあがったムーチャーを、デイ・サービスのおじいちゃん、おばあちゃんたちとおしくいただきました。

ムーチャーづくりを教えてもらったお礼にと園児たちは歌とおゆうぎを披露、デイ・サービスのおじいちゃん、おばあちゃんたちも手拍子を取るなど大よろこび。楽しいひとときを過ごしました。



町商工会が新春講演会を開催

町商工会(呉屋定子会長)主催の平成6年新春講演会が1月20日午後、かねひで都パレスで開催されました。

これは、町商工会が会員に学習機会を設け、知識や視野を広げてもらうことを目的に毎年1月に開催するもので今年が8回目。

講師となった平安恒政町長は「住みたいまちひとが輝く21にしはら」を演題に約2時間、西原町第二次総合計画に基づいて、本町の沿革や現状、課題や将来像について講演しました。

特に、施策の大綱として文教のまち西原づくりのための3つの基本目標「人間性豊かな創造のまち」・「明るく住みよい平和なまち」・「豊かで活力のあるまち」については具体的な事業を挙げて詳しく述べました。



兼久で7人が生年祝い

本町字兼久(玉井正幸区長)の生年合同祝いが、1月16日午後、町中央公民館で開催されました。

いぬ年の今年は、7人がトウシビーを迎え、祝福にかけた区民や関係者ら約500人でにぎわいました。

今回トウシビーを迎えたのは、85歳の新川仁助さん、73歳の玉那覇平吉さん、糸数岩雄さん、岸本恵市さん、宮平雅市さん、幸地克長さん、砂川トヨさんの7人。

同区は、35年前から合同で生年祝いを催していて今年は35周年の節目に当たることから、全区民が盛りだくさんの余興を披露し、トウシビーを祝いました。

また、来賓祝辞で平安恒政町長は生年祝いを迎えた7人を祝福し、35年間にわたり生年合同祝いをしている兼久を讃えました。



兼久Aチームが優勝

1月23日午前、兼久ゲートボール場で、第10回町ゲートボール大会が行われました。

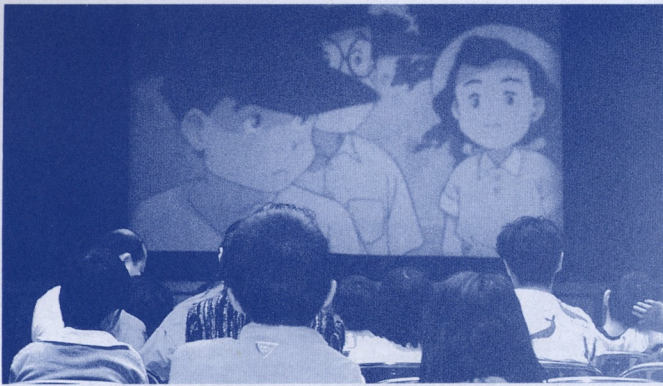
これは、ゲートボールを通して町民相互の親睦と友好を図ることとゲートボール競技の普及・技術の向上が目的。町体育協会(野島英秀会長)が主催し、16チーム96人が参加。予選は3者リーグ、決勝はトーナメント戦(3位まで表彰)で行われました。

「アリアリ、ガンジューサヌ」といった声援の中、キビキビした審判のコールやハツラツとしたプレイなど製糖期で参加チームが少なかったにもかかわらず、大いに大会は盛りあがりました。なお、大会結果は次のとおり。

▷優勝・兼久Aチーム ▷準優勝・平園チーム

▷3位・小波津団地チーム

3月19日(土) 第10回町生涯学習振興大会は 12時 町中央公民館で開催



かつ飛ばせ！ドリーマーズ

2月13日、町中央公民館で第32回町親子名画鑑賞会(町教育委員会、町中央公民館主催)が行われ、約170人の親子が鑑賞しました。

上映されたのは「かつ飛ばせ！ドリーマーズ」(中沢啓治原案)で、原爆で焦土と化したヒロシマの街を舞台に、白球に思いをこめて夢を追いかけた少年たちの、「ドリーマーズ」というチームを通して築きあげた友情の物語です。

「どんな時代や環境にも関わらず、子どもたちがのびのびと健やかに成長していくたくましが現れていた」と、映画を鑑賞したあるお父さん。



小波津～津花波線に信号機設置

1月19日午前、町道小波津～津花波線交差点に信号機が設置され、点灯式と渡り初めが行われました。

小川良夫町助役や新垣佳宏浦添警察署長ら関係者が見守るなか、西原保育所(添盛初子所長)の園児2人が作動ボタンを押し信号機を作動、引き続き同保育園の園児たちや地域住民ら約60人が信号に従い、手をあげて元気に横断しました。

この交差点は、交通量が多く変則的に5本の道が交差しているため見通しが悪く、信号機の設置が望まれていました。



最上広域圏と交流

本町は、中部12市町村で構成する中部広域市町村圏事務組合(新川秀清理事長)に加入しています。

中部広域市町村圏事務組合は昭和63年7月に全国初の広域圏同士の姉妹締結を最上広域市町村圏事務組合と結び、人的・物的交流を行なっています。

1月20日から23日まで、中部広域圏から児童生徒ら163人を最上広域へ派遣し、北国の生活風習やスキー体験など貴重な体験学習を行ないました。

なお、中部広域市町村圏事務組合の事業として最近行われたものでは「'94国際児童青少年演劇フェスティバルおきなわ(キジムナーフェスタ)」や「'94おきなわマラソン」などがあります。



新川千代子さんが社会活動賞受賞

第16回琉球新報活動賞の贈呈式が、1月29日午後、琉球新報ホールで行われ、本町からは新川千代子さんが社会活動賞を受賞しました。

同賞は、地域の福利増進に精励している人材を顕彰するもので、産業、社会、教育の各分野について年一回行われます。

贈呈式では、親泊一郎琉球新報社社長の式辞、受賞者表彰、大田昌秀県知事(高山朝光知事公室長代読)の祝辞に引き続いて受賞者あいさつがありました。

新川さんはあいさつの中で「今日の感激を胸に仲間と頑張っていきます」と述べました。

力いっぱい発表した学芸会

「しっかり見よう、しっかり聞こう、力いっぱい発表しよう」をテーマに、西原東小学校(井口善博校長)では、1月30日午前、同校体育館で学芸会が行われ、大勢の父母や教育関係者らでにぎわいました。

各学年ごとに、リズムや舞踊劇、合奏などを披露し、参観の父母らが盛んな拍手を送っていました。



町文化協会洋楽部会が町社協へ10万円寄付

「12月23日に町中央公民館で行なったクリスマスチャリティーコンサートの収益金です。福祉に役立てて下さい」と、町文化協会洋楽部会(岡田史明部長)が、2月10日午前、町社会福祉センターで、町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)に対し10万円を手渡しました。

宮平会長代理で応じた呉屋厚雄事務局長は「みなさんの善意に沿うよう有効に使わせていただきます」とお礼のことばを述べました。



若干名の採用に受験者138人

平成6年度西原町役場職員採用試験が、1月30日、町中央公民館で行われました。

午前中は一般教養、午後は作文・適性検査などに138人が挑みました。今回は、厳しい雇用情勢を反映し、例年より受験者が増えたこともあって、よりいっそう狭き門となりました。

「もっと勉強していれば…」「作文が問題。あとはまあまあ」と、受験者の弁もさまざま。



わした島の心を再発見

琉球の歴史と文化をいま一度学習し、世界に誇れるウチナーンチュの心を再認識しようとして「琉球の歴史と文化を知る講座」が、1月25日から2月22日までの全9回にわたり(毎週火・金曜日)、町中央公民館で開かれました。

町民を対象に45人を定員として開かれた今講座は、毎回盛況で町民からは、もっと定員を増やしてほしいという要望が聞かれるほどでした。



3月21日(月) 春分の日 町役場は閉庁です

石川美稚代さん(西原中学校三年)が、 全国納税貯蓄組合連合会会長賞受賞

全国納税貯蓄組合連合会主

催の平成五年度「中学生の税の作文」で、石川美稚代さん

(西原中学校三年)が、全国

納税貯蓄組合連合会会長賞を

受賞しました。

「中学生の税の作文」は、次

代を担う中学生に税への関心

を呼び起こすことと税につい

て正しい知識の普及を図るこ

とが目的で毎年実施されてい

ます。

本年度は、全国から四千八

百七十一枚、三十四万三千百

十三編の応募があり、石川さ

んが見事、最高賞の連合会会

長賞を受賞しました。

なお、結果は次の通り

(敬称略)。

▽全国納税貯蓄組合連合会

会長賞

石川 美稚代(西原中)

「社会に役立つ税金」

▽全国納税貯蓄組合連合会

佳作

花岡 美樹子(西原中)

「税金に感謝」

▽県納税貯蓄組合連合会

会長賞

仲宗根 瑞 香(西原中)

「みんなの幸せのために」

▽県納税貯蓄組合連合会

優良賞

糸数 純 子(西原中)

「税の必要性」

平良 亮 子(西原中)

「みんなのために」

山城 優 子(西原中)

「くらしを支える税金」

▽北那覇青色申告納税貯蓄組合

佳作

平良 文 子(西原中)

「この国を支えるもの」

識名 円(西原中)

「税金への理解」

盛屋 誠(西原東中)

「税について」

「社会に役立つ税金」

全国納税貯蓄組合連合会会長賞

西原中学校三年 石川 美稚代



「税金」といっても私達には

直接、関係のないものという

にも思えます。しかし、よく

考えてみると、私達が生活し

ている、この「社会」の中の

あらゆる事が税金と深くかか

わっているのです。

私は以前まで、税金という

言葉を、見るだけ、聞くだけ

でもすぐに「暗い・つらい・

苦しい」というイメージを頭

に浮かびあげていました。そ

んな私のイメージを変えてく

れたのが、おばの言葉です。

「税金を納める事に対し、い

やがる人」も世間には沢山居

るけど、よく考えてごらん。

あなた達の親が納めている「税

金」はね、社会の中で幅広く

使われているのよ。学校で勉

強出来るのも全て税金のおか

げ。その他にも教科書の製本

や道路整備、ゴミの処理や公

園、老人ホーム等の建設も、

全て税金のおかげなのよ。こ

れだけお世話になっっている税

金を払わない人に対して、ど

う思う？払わないのはとてもま

ちがっていると思わない。」と...

私はその時、とてもはざかしい

思いをしました。税金が私達

の環境をつくっているとはぜ

んぜん知らなかったからです。

いつも自分達の事ばかりを考

えて、税金がどこでどのよう

に活用されているかなど、考

えたこともありませんでした。

中学一年生の頃、町の主催

するボランティア活動に参加

したことがありました。町

内にある「守礼の里」という

老人ホームで、三日間、お年

寄りのお世話をし、又お年

寄りとの接し方など、大切な

事を沢山学びました。そこに

は、身体の不自由なおじいさ

ん、おばあさんが共に生活し

ています。おじいさん、おば

あさんの生活している老人ホ

ームは、私達の両親が一生懸

命働いてつくったお金の一部

によって建てられたのです。

私は、このおじいさん、お

ばあさんたちの屈託のない明

るさと温かさに、今までの「税

金」に対する過ちを感じまし

た。「税金」は昔のように個

人の利益に使われているので

はなく、弱い人達を守ってあ

げたり、私達の住んでいる社

会を快適にする為に役立つて

いるのです。今、じっくり考

えてみると「税金」はいろん

な面で大活躍しています。偉

大な力を持つ税金は、一人で

は出来ない大仕事を成しとげ

私達の社会を素晴らしいもの

にしてくれる「正義の味方」

なのです。

もし、日本に「納税の義務

がなかったら老人ホームもな

かったでしょう。老人ホーム

がなかったら、あのお年寄り

にも逢えなかったし、あの笑

顔を見ることが出来なかった

のです。

今後、私達が豊かで住みよ

い環境で生活してゆくには、

身近で使われている税金に、

深く関心を持たなければなら

ないのではないのでしょうか。

私が成人を迎えるまで、後五

年。税金を払えることの出来

る自分を、大変誇りに思いま

す。



県営西原団地(比嘉良富自治会長)では、自治会事務所集会所で、団地内の子ども会活動が活発に行われています。その中でも特に精力的に活動しているものに、ひまわり祭り太鼓があります。これは、

子ども会活動 と ひまわり祭り太鼓

エプロン通信員

喜納 京子

エプロン通信員募集

「広報にしはら」のより充実した内容に向けて、町民(主婦)に積極的に広報編集スタッフとして参加してもらう「エプロン通信員制度」を設けています。

エプロン通信員制度は、町民の紙面参加であるとともに婦人の目からみた町行政及び地域の話題をルポしてもらおうというものです。

つきましては、下記のとおり募集したいと思いますので、希望者をお待ちしています。

記

1. 募集人員 2名 (坂小及び南小地域から1名
東小及び西小地域から1名)
2. 任 期 2年
3. 謝 礼 金 月 1,500円
4. 提出書類 自筆履歴書一通(写真一葉添付)
5. 提出先 西原町役場文化広報課
6. 切 平成6年3月31日(木)
7. 希望者が多い場合は、町広報審査会が選考し、決定します。

詳しくは文化広報課へ ☎(946-9846)

お知らせ でーびる



案内・募集

団地の子どもたち(小学生中心、二十五人)で構成する太鼓グループで、人数が多いので毎週火曜日と金曜日に分かれて練習しています。子ども会を指導している向山さんは「ひまわり祭り太鼓

を始めて三年になりました。子どもたちが一生懸命に練習を重ね、いまでは各地の催し物等に参加させていただいています。最近では、二月十三日に沖縄市で行われたキジムナーフフェスタの閉会式に、町

代表として出場しました」と話して下さいました。子どもたちは、ひまわり祭り太鼓の響きとともに、明るく楽しい和やかな雰囲気の中で、これからも子ども会活動を盛りあげていく事でしょう。

寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽字小橋川二百六十三番地の八、西原シオン教会(牧師新垣優子)が、クリスマス献金の一部を一般寄付として町社協へ一万円。

▽字小波津二十四番地、呉屋カマさんが、生年祝(八十五歳)を記念して町社協へ十万円、町老人クラブ連合会へ十万円。

▽ひまわり祭り太鼓(代表者比嘉良富)が、一般寄付として町社協へ二万円。

▽字幸地九百九十六番地、銘荊ヨキさんが、故夫次郎さんの香典返しとして町社協へ五万円。

▽浦添市牧港五丁目六番三号、(株)南海建設(有木寛治代表取締役社長)が、一般寄付として西原南小学校と町中央公民館にそれぞれ五万円分の書籍一式。

▽字小橋川三十六番地、大城トミ子さんが、故夫政吉さんの香典返しとして町社協へ十万円、町老人クラブ連合会へ五万円、町人材育成会へ十万円。

▽町文化協会洋楽部会(岡田史明部長)が、第二回クリスマスチャリティコンサート収益金を一般寄付として町社協へ十万円。

平成6年度 国民健康保険者証(手帳)のきりかえについて

あなたが、現在お持ちになっている国民健康保険手帳は、3月31日までしか使用できません。4月からは、新しい保険手帳でないと受診できませんので、次のとおり新しい保険手帳に切り替えて下さい。

記

場 所：西原町役場 国民健康保険課窓口
時 間：午前9時から午後4時まで
持参するもの

- 1. 現在使っている国民健康保険手帳
- 2. 印鑑
- 3. 在学(園)証明書 (学の手帳を持っている世帯)

注意事項

- 1. 保険税未納の方は、あわせて納めて下さい。(平成5年度分まで)
- 2. 平成6年度の所得申告をしていない方は、税務課で申告をしてから保険手帳の切り替えをして下さい。収入のなかった方についても申告が必要です。
- 3. 国民健康保険と職場の健康保険の両方に加入している方がおりましたら職場の保険手帳も持参して下さい。
- 4. 国民健康保険に加入している方で、既に転出や転居(住所変更)している方がおられる場合には国民健康保険の窓口にて届出をして下さい。

【切り替え日程】

3月14日(月)	幸地、幸地ハイツ、幸地高層住宅、棚原
3月15日(火)	徳佐田、森川、千原、上原、坂田
3月16日(水)	翁長、呉屋、津花波、西原台団地、小橋川、内間
3月17日(木)	内間団地、掛保久、嘉手苅、小那覇
3月18日(金)	平園、兼久、与那城
3月22日(火)	美咲、我謝
3月23日(水)	西原ハイツ、安室、桃原、池田
3月24日(木)	小波津、小波津団地、西原団地

映画上映のお知らせ

神山征二郎監督作品 月光の夏

日 時…平成6年3月13日(日)、午後2時と午後6時の2回上映
場 所…西原町中央公民館大ホール
入 場 料…300円
主 催…町教育委員会
問い合わせ先…町中央公民館
(電話 九四五―三六五七)

殉職船員遺児援護事業について

(お知らせ)

乗船勤務中に職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援護金が支給されます。

【支給期間】…出生から高等学校を通常の期間に

より卒業するまでの期間

【支給額】…一人月額 8,000円

※別に、入学記念品代として小学校に入学時に30,000円、中学校・高校進学時に10,000円贈呈。

【申請・お問い合わせ先】

東京都千代田区麹町4番地の5海事センタービル内
(財)日本殉職船員顕彰会
電話…〇三―三三四―〇六六二

3月(Mar.) 行事・祭事予定

- 1日(火)○ひなまつり会 15:00 西原児童館
- 2日(水)○心配ごと相談 14:00 町社会福祉センター(9日、16日、23日、30日)
○平成5年度青年学級(町中央公民館その他、9日、16日、20日、28日)
- 4日(金)○3歳児健診 13:30~14:15(3歳3カ月~4歳未満児、町社会福祉センター)
○食事サービス 10:00 町社会福祉センター(11日、18日、25日)
- 5日(土)○役場閉庁
- 6日(日)○島尻の城跡巡り 8:30 町中央公民館
- 8日(火)○トランポリン 16:00 西原児童館
- 9日(水)○離乳食実習 13:30(乳児、町中央公民館)
- 12日(土)○役場閉庁
- 13日(日)○映画上映「月光の夏」(14:00、18:00、町中央公民館)
- 17日(木)○DPT 13:00~13:45(24カ月~66カ月児、町中央公民館)
- 19日(土)○第10回 町生涯学習振興大会(12:00、町中央公民館)
○役場閉庁
○映写会 14:00 西原児童館
○町立幼稚園修了式
- 20日(日)○乳児一般健診 9:00~10:30、13:00~14:30
(H5.9.26~H5.12.20生まれ、H5.3.26~H5.6.20生まれ、町中央公民館)
○町立中学校卒業式
○山原の歌碑巡り 8:30 町中央公民館
- 21日(月)○春分の日
○役場閉庁
- 23日(水)○町立小学校卒業式
- 24日(木)○1歳6カ月児健診 13:30~14:15(1歳6カ月~1歳8カ月児、町中央公民館)
○町立小・中学校修了式
- 26日(土)○西原保育所・坂田保育所卒園式
○役場閉庁
○ビデオ会 14:00 西原児童館

4月(Apr.) 行事・祭事予定

- 1日(金)○町制施行15周年記念式典 14:00 町中央公民館
- 2日(土)○役場閉庁

※都合により日程を変更することがあります。

日本育英会 奨学生の募集について

- 1. 日本育英会** 日本育英会法に基づいて設立された国の育英奨学事業を行っている機関です。
(各都道府県 教育庁内に県支部がある)
- 2. 募集対象** 「高等学校奨学生」
募集期間 高校全学年 4月中旬~5月
「高校予約候補者」
中学校3年生 4月下旬~5月
「大学予約候補者」
高校最高学年生 4月下旬~5月
※ただし、いずれも学力・家計の基準があります。
※「高校予約候補者」、「大学予約候補者」は、翌年進学校に入学手続きをして本採用になる。
- 3. 貸与月額** 奨学金は貸与です。毎月本人の銀行口座に振り込まれます。卒業後は年賦(年1回)で返還します。(無利子です)
公立高校 1~2年生 13,000円
3年生以上 12,000円
私立高校 1~2年生 25,000円
3年生以上 24,000円
※貸与は、採用されたときから卒業するまで。
※自宅外通学生で、希望する者には月額5,000円の増額制度があります。
- 4. 返還方法** 卒業後、約10年間、年賦で返還します。
- 5. 申込先** 在籍する高等学校、中学校の学級担任の先生
- 6. その他** 詳しいことは、県教育庁内の日本育英会 沖縄県支部または各学校の奨学係の先生にお尋ね下さい。
日本育英会 沖縄県支部

〒900 那覇市泉崎1丁目2番2号(県教育庁内13F)

☎098-864-5272

- 西原町人材育成会
- 平成6年度高等学校・大学(短大)貸費生募集
- 西原町人材育成会は、町の振興開発を担う有為な人材の育成を目的として、高等学校及び大学に在学する町出身の生徒に対して学資を貸与するため、平成6年度の貸費生を募集します。
- 1 貸費生の種類**
県外大学、県内大学、県内高校
 - 2 募集人員**
各種とも若干名
 - 3 貸与月額等**
県外大学 三〇、〇〇〇円
県内大学 二〇、〇〇〇円
県内高校 一〇、〇〇〇円
 - 4 出願書類の受付期間**
平成六年三月一日(火)~平成六年四月十五日(金)までに本会必着のこと
 - 5 応募書類の提出先及び連絡先**
〒九〇三二〇一
西原町字嘉手苅一一二番地
西原町人材育成会事務局
(町教育委員会内)
電話 九四五二六五六

4月1日(金) 町制施行15周年記念式典は 午後2時 町中央公民館で開催